

志教育の 視点	<input checked="" type="checkbox"/> かかわる ・ <input checked="" type="checkbox"/> もとめる ・ <input type="checkbox"/> はたす
------------	--

活動名	地方国立大医学部生とのワークショップ（2学年医進会生徒対象）
教科・領域等	特別活動
活動学年等	2学年 医進会 希望者
ねらい	地方国立大学に進学した卒業生とのワークショップを行い、医学生としての心構えや、東北地区を中心とする医療の課題などを共有し、医師としての志を固める一助とする。

【実践内容】

県教委 令和4年度医師を志す高校生支援事業の一環として募集している「医療系人材育成プログラム」からの予算措置を受け、2学年医進会所属生徒の希望者対象に医師を志す上での支援を行った。

【活動内容】

○日 時 令和4年12月28日（水）13:00～15:00 （2時間00分）

○参加者 2学年生徒 12名

○来校した講師（卒業生）3名

山形大学医学部医学科4年生

福島県立医科大学医学科5年

弘前大学医学部医学科3年生

○ 実施形態

1 開会および全体会 5分

2 3つのグループに分けて座談会（ワークショップ） 30分×3名

3 閉会 5分

4 質疑応答（個別） 10分

5 事務連絡等

【活動の様子】



ワークショップの運営については、個々の講師の話しやすいスタイルで実施している。多くの講師は、はじめの15分程度自分の大学のカリキュラムや生活、その大学の医学部の特徴などを説明してくれる。その後、班を作ってワークショップとなる。



ワークショップの一コマ

講師のOGも輪の中に入り、高校生と話をする。高校生としての学習や課外活動への取り組みなど、多岐にわたる質問が生徒から寄せられる。また医学生としての悩みや医療現場での諸問題についても意見を交換する。今年は少人数だったので、より意見交換が進み、参加した生徒からはとても高評価であった。また、他県にある大学の医学科について詳細な話を聞く機会はほとんど無いため、一度に異なる大学の医学科を比較でき、生徒の医学に対する視野や進路選択の幅が広がる。会終了後も30分程度残って質問を受ける講師も見られた。